

令和2年度事業報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日

公益財団法人三宅奨学会

1. 学資金の貸与及び学資金を受ける学生の指導

(1) 学資金の貸与

12名の奨学生に対して毎月40,000円ずつを送付した。このうち20,000円を貸与とし、20,000円は給付した。

この貸与のために「ゆうちょ口座」の電子決済の振込による送金を行った。

表1 三宅奨学会令和2年度奨学生一覧（氏名等記載省略）

奨学生番号	氏名(省略)	在学	出身高	大学	年間送付額(年間貸与額)
596		大学3	広島新庄	広島経済大学経済学部	480,000(240,000)円
598		大学3	広島新庄	広島大学医学部	480,000(240,000)円
599		大学3	近大東広島	近畿大学農学部	480,000(240,000)円
600		短大2	千代田	広島文化学園短期大学	480,000(240,000)円
601		大学2	広島新庄	同志社女子大学薬学部	480,000(240,000)円
602		大学2	広島新庄	福山大学薬学部	480,000(240,000)円
603		短大2	千代田	島根県立短期大学	480,000(240,000)円
604		大学2	広島新庄	徳島大学総合科学部	480,000(240,000)円
605		大学1	千代田	大阪体育大学体育学部	480,000(240,000)円
606		大学1	千代田	広島女学院大学人間生活学部	480,000(240,000)円
607		大学2	広島新庄	琉球大学人文社会学部	480,000(240,000)円
608		大学1	千代田	安田女子大学薬学部	480,000(240,000)円

奨学生は、貸与金の送金を受けて、近況報告とあわせて貸与金受給報告を行うこととなっている。報告は順調におこなわれ、報告を遅れた者はあっても、提出しなかった奨学生はなかった。

(2) 奨学生の指導

1. 毎月の送金確認の領収書とあわせて、近況報告の提出を義務づけ、この報告に対して、個別文書による指導を行った。
2. 年度末に修学状況報告書を提出させ、学業成績・生活状況・進路に関する状況を聞いて、これに対する文書での指導を行った。

表2 奨学生状況（個別の記載省略）

- 年度末に全員から大学発行の成績通知書が奨学会事務局に送付された。
- 退学・休学・留年等はない。
- 全員優秀な成績を示しており、取得単位数においても心配な者はいなかった。
- 卒業者2名は出身地である北広島町の地元企業に就職した。
- 大学生生活においてはコロナ感染症予防の観点からオンラインの授業が中心となり、かなり苦労した1年間となっている。特に1年生においては対人関係の構築に困難があり、最終学年の学生においては求人状況の悪化があり、就職活動にも制限があったため、大変な苦労があった。

3. 令和3年3月22日(月)に「歓送迎会兼研修会」を実施した。
新型コロナウイルス感染防止のため、参加を見合わせざるをえなかった奨学生もあつたが、新奨学生予定者3名、在学奨学生4名（うち1名は卒業奨学生）の参加を得た。
他に新奨学生の保護者3名と役員7名が参加し、あわせて17名の参加のもと研修を行った。なお、雨天のため、13:30より予定していた「修験の森」での説明会は中止した。

日時 令和3年3月22日(月) 13:30 受付 13:00 開会 16:00 終了

会場 千代田産業振興センター 2F大会議室

研修内容

1. 三宅奨学会設立の経緯と存在意義について
2. 奨学生の義務と役割について
3. 大学で学ぶ価値と意味ある過ごし方について

(3)奨学生の選考及び採用

1. 令和元年11月15日(金)広島北ホテルにおいて、奨学生の選考会を開催し、募集要項に従い令和2年度採用奨学生を内定した。
 - ・奨学生の募集のため、千代田高校・加計高校・加計高校芸北分校・吉田高校・広島新庄高校の各校に推薦依頼の文書を送付し、また奨学金を完納済みの奨学生OB 523名に推薦依頼の文書を送付した。
 - ・学校長推薦2名が出願した。また役員よりの推薦が2名あつた。推薦高校は広島新庄高校の1校であり、役員推薦の候補者の在籍校は千代田高校と広島新庄高校の2校であつた。
 - ・三宅奨学会役員と推薦高校校長及び進路指導部長を選考委員として審査を行い、4名を採用内定とした。

表3 三宅奨学会令和3年度奨学生採用内定者名簿（個別の記載省略）

2. 令和3年3月22日(月)の歓送迎会兼研修会に先だつて、大学進学を確認し、令和3年度の奨学生として名簿への登録を行った。
これに先立ち、奨学生内定者1名とその保護者より、希望の学科へ再挑戦したいので、奨学生内定を辞退したいとの申し出があり、これを受理した。この結果、令和3年度の三宅奨学会奨学生の採用は3名となつた。

表4 三宅奨学会令和3年度奨学生採用者名簿（氏名等の記載省略）

奨学生番号	在学	出身高	大学	年間送付予定額 (年間貸与予定額)
609	大学3	広島新庄	神戸大学海事科学部	480,000(240,000)円
610		広島新庄	安田女子大学薬学部	480,000(240,000)円
611		千代田	安田女子大学文学部	480,000(240,000)円

(4)奨学生より返還金の回収

- これまで奨学金を貸与された者608名のうち、令和2年度貸与中の者12名と完済した者529名、さらに大学院進学により返還を延期した者2名を除く全員65名に対して、9月と3月の年2回の返還金振込依頼を行い、返還金を管理した。
繰り上げて返還する者もあり、長期滞納者を含み、令和2年度で返還を完了したものが12名あり、返還は全般的には順調に行われている。以上から次年度は大学院進学による返還猶予者2名を加えて55名が債務者となり、53名から奨学金の返還を求めることとなる。

令和3年3月 貸付残高合計 27,439,100円
令和2年度 返済高合計 5,086,000円

ただし、返済が遅れている奨学生が14名ある。このうち、長期に返還を滞納している者や、本人・保証人ともに住所不明の者もあり、また返還の意思を示さない悪質なもも存在する。特に問題となる奨学生は以下のとおりである。

表5 奨学金長期滞納者（氏名等の記載省略）

奨学生番号	残額		状況
132	89,100	S53卒	S62年以後返還せず。督促に応じず。
455	144,000	H13卒	H31より預金からの引落不能。本人・保護者の住所不明。
487	809,000	H21卒	再契約後月割で返還開始。まだ211,000円のみ返還。
504	258,000	H20卒	H28年より返還が止まり、再契約。不安定乍ら返還再開。
510	1,780,000	H20卒	督促に応じなかったが住所連絡あり。以後2度返還あり。
524	864,000	H23卒	H25年まで2回返還のみ。以後督促に反応なし。
597	480,000	R1卒	返還契約未締結。督促に反応なし。

(5)その他の事業

1. 「修験の森」の維持管理

修験の森の草刈り作業は地域の方々によって自主的に行っていたため、最上段の広場の草刈りと清掃のみ理事長においておこない、業者への委託は行っていない。

2. 三宅奨学会ホームページの開設

奨学生への応募が低調な理由の一つとしてホームページがないことから、信頼感に欠けるのではないかとの意見が出され、様々検討と交渉を重ねた結果、広島市安佐南区中筋の三原敬幸氏の紹介によって、同じく広島市安佐南区中筋の高田哲氏に制作と開設の委託をし、低廉な費用でホームページを開設することとなった。12月25日より開設し運用を始めている。

(6) 奨学会運営

1. 評議員会・理事会

- 第1回理事会 令和2年5月26日 於：三宅奨学会事務所
令和元年度の事業報告案及び決算報告案の決定
令和元年度の監査報告
令和2年度の事業計画及び予算の決定
- 第1回評議員会 令和2年6月12日 於：千代田産業振興センター
令和元年度の事業報告及び決算報告の承認
令和元年度の監査報告の承認
令和2年度の事業計画及び予算の承認
- 第2回理事会 令和2年6月12日 於：千代田産業振興センター
令和2年度の事業途中経過報告
令和3年度奨学生募集について
評議員の募集について
- 奨学生選考会 令和2年11月20日 於：広島北ホテル
- 第3回理事会 令和2年11月20日 於：広島北ホテル
奨学生選考会による選考結果の承認
令和3年度の事業計画と予算の概要決定
- 歓送迎会兼研修会 令和3年3月22日 於：千代田産業振興センター
- 第4回理事会 令和3年3月22日 於：千代田産業振興センター
令和2年度の会務についての経過報告
令和3年度の事業計画案と予算案の決定